

平群

Heguri

≡ 議会だより 3月定例会

No.275

令和2年5月1日

発行:奈良県平群町議会

第1回定例会(3月)

議決結果	…P2
質疑あれこれ	…P3~4
予算審査特別委員長報告	…P5~8
議会懇談会	…P9
議会の動き／議員提出議案	…P10
町政を問う! 一般質問	…P10~15
町の話題	…P16



平群町総合文化センター開館記念式典(令和2年4月11日)

第1回定例会 こんなことが決まりました



第1回定例会は3月4日～23日まで20日間の会期で開かれました。
初日は、町長提出の24案件が上程され、うち13件は即決。新年度の一般会計・特別会計・事業会計の予算案11件は予算審査特別委員会を設置して、9・10日に審議しました。
一般質問は17・18日に行い、10名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。
最終日は、予算審査特別委員会の審査結果報告をうけて採決を行いました。
また、議員発議の意見書2件が上程され採決しました。

議決結果賛否一覧 ○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	岩崎真滋	長良俊一	山本隆史	井戸太郎	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	森田勝	窪和子	下中一郎	馬本隆夫	山田仁樹
町長提案	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度平群町一般会計補正予算(第5号)について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町行政組織条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町総合文化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和元年度平群町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和元年度平群町下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和元年度平群町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	
	令和2年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度平群町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提案	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	再生可能エネルギー発電設備等に関する法整備を求める意見書(案)	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	

議長は採決に加入しません

専決処分 令和元年度一般会計補正予算(5号)

地域介護福祉空間整備等の施設整備交付金決定に伴う予算措置で、今年3月末までの竣工が必要なことから1月14日に専決処分。国からの交付金、申請者への補助金とも773万円。

行政組織条例の一部改正

福祉課の名称を「福祉こども課」に変更するためのもの。4月1日施行。

質問 職員体制と周知の方法は。

答弁 こども園に現在2名の事務職を配置している。うち1名を福祉課に増員予定。周知については、4月号の広報、ホームページ等でしていく。

質問 本庁舎内のレイアウトをわかりやすくする検討はしているのか。

答弁 まだ検討の段階だが、見てわかるよう色を使って各課が選別する方法を考えている。

質問 子育て支援については一元化をこのことで三郷町は部、上牧町は課を設置している。今回の措置は、もっと整理していくのか、そのままなのか。

答弁 専属の担当課をつくるのか内部で協議を重ねてきたが、今のところ職員の人数や場所の問題などで合理的な見解が見出せていない。体制についてはこれからも改善していきたい。

青少年問題協議会条例の一部改正

福祉課の名称変更に伴い条文を整理するためのもの。4月1日施行。



行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

マイナンバーを利用する事務の追加と廃止をするためのもの。

*追加…不妊治療・不育治療費助成金交付要綱の規定による助成金交付事務

*廃止…私立幼稚園就園奨励費補助金要綱に規定する補助金交付事務

質問 不妊治療、不育治療の助成事業にマイナンバーの利用を可能とする理由は何か。

答弁 転入された住民が必要書類を元の自治体から取り寄せ

る手間を省く利便性向上のため。

質問 マイナンバーを示したり書いたりしないと助成は受けられないのか。

答弁 所得証明書を提示していただければ、マイナンバーは関係なく助成の対象になる。

職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正

会計年度任用職員については休職期間中の給与を支払わないためのもの。

職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正

会計年度任用職員の採用時の宣誓方法を改正するためのもの。

特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部改正

観光文化交流館協議会委員を削除するためのもの。

質問 総合文化センターに観

光文化交流館機能が残ることだった。機能が残るのなら協議会委員も必要では。

答弁 総合文化センターにおいては情報発信というのが大きな命題の一つ。社会教育の大きな観点で社会教育委員会がある。その委員会の中に中央公民館・人権交流センターまた図書館協議会委員の方々も参画されている。観光文化交流館の機能面についてもそういった会議の中で審議されるものというふうに理解している。

総合文化センター設置及び管理に関する条例の一部改正

パーテーションによる会議室の分離使用に伴い料金表を改定するためのもの。

質問 料金設定の考え方は。

答弁 各部屋によって特段の機能の差はなく、大規模な設備も備えていないので、使用料についてはあくまでも算定基準に基づいて平米を基本にして算定した。

次頁へ続く

質疑あれこれ

3月議会に町長から上程され、委員会付託以外の議案及び質疑を紹介します。

質問 パーテーションで隣の音や声を遮断できるのか。

答弁 一定の厚さのボードを設けて、ボードの下の方にはボードが動かないようフタツチで床に簡易に固定できるようにフックを設けているが、完全に隣の声が聞こえないようにするということは不可能。貸し出しの時に、可動間仕切りであっても隣の部屋の声が聞こえることも伝えて利用していただくようにしたい。

質問 駐車場の利用方法はどうなっているのか。

答弁 基本的な考え方は、文化センターを利用される方と、利用されない方の間に不公平が生じないことを前提に民間委託する。遅くとも4月末か5月ぐらいまでにはゲートを設置できるように努力したい。

質問 平成28年度から奈良県思いやり駐車場制度がスタートして、難病患者、内部疾患の方、要介護の方、妊婦さん、けが人などの歩行困難な方の移動に配慮が必要な方が、優先的に駐車できるスペースの確保が必

要だと思つた。

答弁 公共施設で福祉の思いやりのマークを付けて駐車場を設置してるところも多数ある。できるだけ早い時期にそういったものでもできるように検討する。

町営住宅管理条例の一部改正

①関係法令の名称の変更、②公営住宅法の施行規則と施行令の一部改正に伴う条項のズレ、③公営住宅法の一部改正に伴う認知症患者等の収入申告義務を緩和するためのもの。

令和元年度一般会計補正予算（6号）

補正総額は2億3992万3千円。主な事業は、小中学校のICT整備事業8186万6千



円（財源内訳：国庫補助4093万3千円、町債4080万円、一般財源13万3千円）、南小学校南館のトイレ洋式化事業2510万3千円（同：国庫補助836万8千円、町債1670万円、一般財源3万5千円）、下水道事業会計繰出金2161万3千円（全額一般財源）などです。

また、今回の補正は、当初予算に一般財源で計上していた駅周区画整理組合への補助金2億円を町債で賄い、当初予算に3億9719万6千円計上していた道路新設改良費の財源内訳について、国庫補助金を1億3075万円から9018万3千円に減額、町債を1億6690万円から2億9980万円増額するなど、町債を増やして一般財源を減額する編成となっています。

この結果、歳入超過となる2億6970万円は、未確定財源（歳入不足）1億6972万2千円の解消と財政調整基金積立金の増額（9997万8千円）にあてます。

質問 南小学校のトイレ洋式化で設置率と完成時期は。

答弁 南館に19基を設置して、設置率は60%になる。工事は夏休みに実施する。

質問 小中学校のICTの環境整備工事のスケジュールは。

答弁 仕様書を決定して公募型のプロポーザルで業者を決定する。工事は5千万円以上なので6月議会で契約の議決をいただき、夏休みや冬休み、場合によっては土日も工事を進め、令和2年度末までに竣工をめざし、令和3年の4月から本格運用をしていきたい。

質問 全学年に1人1台の端末配備までのロードマップは。

答弁 令和2年度末までに小学校5・6年生、中学校1年生に。3年度末までに中学校2・3年生に。4年度末までに小学校3・4年生に。5年度末までに小学校1・2年生に整備することになっている。

質問 障害児施設給付事業と町外保育委託料の増額は。

答弁 障害児施設給付事業の利用人数が12月補正で52人を見

込んでいたが59人に増加。町外保育は当初見込みの8人から17人に増えたことによるもの。

質問 道路改良費の補助金の決定額が変更になった理由は。

答弁 10月に国の交付決定で補助金が大きく減額されたが、その後の国の経済対策で補助金が増額されたが、当初予算からは約4千万円の減額になった。

質問 この補正後の今年度実質単年度収支の見込みは。

答弁 約7千万円程度の単年度収支の黒字が出ればと思っている。

質問 小中学校のICT運用の体制づくりは。

答弁 国は4校に1人の割合でICT支援員の配置を求めている。ICTの技術をわかりやすく伝えるエバンジェリストをそれに充て、各校において情報系のパソコン等に精通されている先生や若い先生を中心に研修を重ね、教員のスキルアップを図るよう考えている。

予算審査特別委員長報告

一般会計

《歳出全般》

会計年度任用職員の待遇面が近隣との比較でどうかと質され、給与面や休日面で不利益が出ないよう取り組んでいるとの答弁。

会計年度任用職員制度による負担増の質問には、4356万2000円の増額との答弁でした。

職員採用の今後の見通しの質問には、第2次健全化計画で平成29年度から令和2年度まで職員採用を控えている。仕事や住民サービスに支障が出ないよう3年度から一般事務職、専門職を採用していく予定と答弁。

人口減少や空き家の対策、平群町を盛り上げていく施策は予算のどこにあるのかとの質問には、予算書の主要事業一覽で事務事業の予算配分を示している。財政状況が厳しい中、緊縮型の新規性が希薄な予算編成になっているが、今の事業を丁寧に実施することで住民のみなさんに満足いただけるまちづくりをやりたいとの答弁がありました。

《総務費》

ふるさと納税の返礼品を増やしてはとの質問には、今年度、千光寺の宿坊体験、フジライディングパークの乗馬クラブ二日体験などを増やし、お「も」も再開した。新年度もアンテナを張って返礼品に採用できるよう考えたいとの答弁がありました。

定住促進奨励金は転出を防ぐのに役立っており続けるべきだとの質問には、今年12月までが期限となっているが、今年度決算が確定する時期には延長するかどうか考えたいとの答弁。

防災備蓄の液体ミルク、賞味期限1年の入れ替え前の活用の質問には、給食や妊産婦、出産された世帯などへの配布を考えていると答弁。防災備蓄マスクについても、すでに学童保育所やこども園に配布している。今後、子育て支援センターなどにも配布するなど、早急にウイルス対策に対応していくとの答弁がありました。

地域防災計画見直しへのハザードマップの全戸配布についての質問には、今年6月の広報に折り込むと答弁。避難所の防災訓練の質問には、来年度には実施したいとの答弁がありました。

このほか、防犯カメラ設置や防災無線、自主防災組織結成補助金、町有バスの運行管理、自治会運営の負担軽減、コミバス事業、公共施設のトイレの改善、ご当地ナンバープレート発行事業などについて質疑がありました。

《民生費》

こども園の延長保育の時間帯の変更についての質問には、早朝保育は通常にして、18時半から19時半を延長保育として利用料が発生することになると答弁。

北学童保育所の定員が超えており、改善が必要との質問に、施設の面積や指導員等の体制も必要になるので財政部局とも協議して整えていきたいとの答弁。

旧人権交流センター運営費の質問には、解体は令和3年度以降ということで光熱費や警備保障委託費を計上していると答弁。

このほか、中央公民館敷地内の忠魂碑の移設や障害者福祉計画策定、シルバー人材センター補助金、男女共同参画社会推進事業費などでも質疑がありました。

《衛生費》

成人の風しん予防接種実施状況の質問には、今年度は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性823名に発送し、1

月返送まででは16%の実施。2月時点で受けた方の請求書がほとんど返ってきており、国に比べれば高い数値になってくる。新年度は約1200名が対象で、4月中旬に個人通知をし、広報・ポスター・ホームページなどを活用して周知に努めたいとの答弁。

10月からのロタウイルス予防の定期接種化の質問には、対象者全員に案内する。100%行っている新生児訪問でも確認するとの答弁がありました。

不燃物処理費が上昇している要因の質問には、輸送費や燃料費の高騰、鉄やアルミの単価が下がっていることと答弁。廃棄物の減量について、生ごみの堆肥化をしないと計画は実現できないとの質問には、どのような方法でどのタイミングでやっていくか、他自治体の視察等をふまえて検討しているとの答弁がありました。

食品ロス対策の質問には、防災備蓄品は期限切れ前に自主防災組織の訓練や出前講座の啓発品として配布したりフードバンクに提供している。今後、町内の業者へ協力を要請するとの答弁。

缶・ビンを出すコンテナが重すぎて集積場所に出せない問題では、75歳以上の世帯には役場窓口で小さいものと交換していただけるとの答弁がありました。

このほか、仮置き焼却灰や産後ケア事業、不妊不育治療、新規事業の産婦健診、斎場の使用状況などでも質疑がありました。

《農林水産業費》

防災ため池推進事業の質問には、今年7月1日施行の農業用ため池の管理及び保全に関する法律に基づき、下流域500メートル以内に家屋や公共施設などがあるため池51カ所調査し、ハザードマップを作成してホームページ等で公表すると答弁。道の駅くまがしステーションのリニューアルの質問には、レストランと花卉花木の直売所の改修と答弁。有害鳥獣の駆除頭数が減っている質問には、暖冬の影響で山林等に餌が豊富で里に下りてこないのが原因と考えているとの答弁。

このほか、耕作放棄地や機原地区の維持整備工事、特産品の商品化などについての質疑がありました。

《商工費》

中央公民館の撤去、町有地売却後の商工会館の質問には、商工会館として進入路や駐車場は必要。中央公民館、あすのす平群を解体するまでに、今後のあり方を考えるとの答弁がありました。

このほか、消費者啓発講演会についての質疑がありました。

次頁へ続く

《土木費》

町道鳴川路線の拡幅の質問には、最重要路線と位置付けているが、目に見えた改善は進んでいない。地権者に一歩踏み込んだ交渉をしたい。その間、交通の安全対策をしたいと答弁。川原路線の改良には、建物のない所は買収は済んでいる。建物がある所は、協議が整えば予算計上していきたいと答弁。団地内の町道改修には、補助事業を活用して緊急度の高い所から行っているとの答弁がありました。

ブロック塀等撤去工事補助金の

質問には、今年度6件の申請でいっぱいだったので打ち切った。新年度は県の内示が出る5月以降に広報等で募集すると答弁。新設の町営住宅移転補償費の質問には、老朽化した公営住宅からの移転に伴う補償費で、2件20万円計上しているとの答弁。中央公園のトイレ洋式化の質問には、中央公園は障害者用以外は洋式化されていないことから、新年度に中央公園を実施し、その後、順次検討していきたいとの答弁がありました。

このほか、工場等設置奨励金についての質疑もありました。

《消防費》

消防団の定数の質問には、定数74名に対し昨年10月1日現在64名で前年度より3名増。各分団の

協力や広報で周知し、商店にポスターを掲示するなど団員の確保に努めていると答弁。広域消防への負担金についての質疑もありました。

《教育費》

新図書館の蔵書数の質問には、

現図書館の蔵書は5万冊弱を収容し、それ以外に約2万冊が人権交流センターにある。新図書館には約5万冊移管したい。新年度の購入費350万円は、住民一人当たりの資料費としては、県内の町立図書館で低いレベルだが、今後、増やしていく取り組みをしたい。新図書館に紙以外のデジタル化には、電子図書についても考慮したが、単価が紙媒体と同じものの、利用期間が1年か2年で、閲覧環境を蓄積するには数百万円の経費がかかる。将来的には避けて通れない事業だと考える。図書館に来れない人への対応では、地域の集会所への巡回や戸別配達などのサービスも考えている。Wi-Fiの整備では、館内にアクセスポイントが12カ所あり、一般的なWi-Fiは使えるものとして理解している。新図書館の人員配置には、館長とフルタイム職員4名、パート・時間給の職員3名の全員司書資格者8名体制での運営との答弁がありました。

総合文化センターに統合される人権交流センターの機能の質

問には、若井集会所でそろばんや習字教室、人権生活学校をされる場合、総合文化センターの人権交流センター部分の職員が若井集会所の鍵を借りて開け、そこで活動していただく。機能は総合文化センターという前提との答弁がありました。

小中学校の校務支援システムの

質問には、昨年度と今年度、中学校と小学校で実証実験を行った結果、教職員間の打合せの時間がなくなり、子どもに向き合う時間が増える効果があった、新年度から小中学校で運用する予算を小学校3校で147万円、中学校で23万3千円計上しているとの答弁がありました。

このほか、学校の特別支援学級やトイレの改修、総合文化センターの管理費、中央公民館のPCB（ポリ塩化ビフェニル）処分、人権生活学校補助金、給食センターの修繕費などでも質疑がありました。



《公債費》

新年度の一時借入の予定の質問には、資金不足が生じた場合は金利の入札を行い、一番低利の金融機関から一時借入を行う。予算的には120万の一時借入の利子を計上しているとの答弁がありました。

《歳入全般》

10年以上続いている固定資産税の超過税率をいつまで続けるのかとの質問には、財政が厳しい状況であり、当分の間、ご理解いただきたいと答弁。

平群西小学校の跡地の利活用

の質問には、文部科学省の廃校プロジェクトで広く募集してきた。昨年12月16日からは今年1月未までプロポーザルの企画提案型に切り替えて情報収集し、その中で、一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会から契約日から10年間の有償貸付の提案があり利用候補になった。利用開始や期間等は明言できない。有償貸付の場合の収入は、設定満額の300万円での応募との答弁がありました。

会計年度任用職員制度と幼児

教育無償化による地方交付税の増加見込みの質問には、会計年度任用職員制度で7000万円、幼児教育無償化で3000万円、合わせて1億円ほどが普通交付税の基準財政需要額に算入されると見

込んでいるとの答弁。

このほか、法人住民税や一時保育事業、財産貸付収入なども質疑がありました。

反対討論

地方債が極端に少なく、予算総額66億9千万円の緊縮予算。財政調整基金がほとんどなく、公債費が今後10年以上11億円を超える高止まり状況のもとで努力をされた予算と一定の評価はしたい。この間、要求してきた来年度からの待機児ゼロへ新規の保育教諭の採用、高校卒業まで医療費無料化の継続なども一定評価する。

しかし、緊縮編成でも2億円を超える未確定財源を計上しないと予算編成ができない状況のなかで、住民の暮らしを応援しながら、どう立て直すのが最も問われる問題。1年間でそれを達成できる状況にはないが、ある程度の指針を見せるべき。予算案には、将来展望やビジョンが全く見えない。

賛成討論

予算総額は前年度より14億8千万円の減額、歳入は町税の減少をはじめ、2億1300万円の未確定財源を組まざるを得なく、公債費が10億円を超える大変厳しい予算編成。

厳しい財政状況の中、保育教諭5名の新規採用や新規事業として産婦健康診査助成事業、産後ケア事業、ロタウイルス予防の定期接種化、町独自制度の妊娠を希望する女性や配偶者に対する風しんワクチンの予防接種助成、成人男性に対する風しん抗体検査並びに予防接種助成、災害時の液体ミルク備蓄、子育て世代包括支援センターの設置、福祉こども課の創設などは高く評価をする。また、町制50周年記念としてスポーツイベント開催、ご当地ナンバープレート発行事業なども評価する。

新たに住民負担を設けることなく、財政破綻しないよう取り組むことを要望して賛成する。

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

国への償還残高と滞納額の質問には、残高は519万円、滞納は約8770万円、うち元金は約6750万円と答弁。滞納への対応には、現在、不能欠損はなく、分納で回収しているとの答弁がありました。

国民健康保険 特別会計

今年度の決算見込みの質問には、単年度約7千万円の黒字との答弁。今年度、黒字額が増加したことについては、加入者の所得が増え、税収が増加したこととの答弁。町長が明言している国保税引き下げ額には、今年度の決算状況、所得状況を見る必要があるのでは検討中との答弁がありました。このほか、保険と介護の一体化事業や県への納付金、保健事業などでも質疑がありました。

農業集落排水 事業特別会計

接続状況の質問には、今年度の接続はなく、90件中58件で接続率は64.4%。空き家が6軒との答弁。未接続への啓発の質問には、個人のお宅に啓蒙普及しているとの答弁がありました。

次頁へつづく



令和2年度一般会計・特別会計予算総括

(単位：千円、%)

区 分		令和2年度 予算案	令和元年度 予算額	比 較	
				増減額	増減率 (%)
一 般 会 計		6,690,000	8,170,000	△1,480,000	△18.1
特 別 会 計					
住宅新築資金等貸付事業特別会計		9,069	11,330	△2,261	△20.0
国民健康保険特別会計		2,415,174	2,521,956	△106,782	△4.2
農業集落排水事業特別会計		35,260	38,310	△3,050	△8.0
学校給食費特別会計		67,950	64,364	3,586	5.6
介護保険特別会計 保険事業勘定		1,860,927	1,798,005	62,922	3.5
奨学資金貸付事業特別会計		637	847	△210	△24.8
後期高齢者医療特別会計		436,384	424,239	12,145	2.9
用地先行取得事業特別会計		13,483	13,516	△33	△0.2
特 別 会 計 合 計		4,838,884	4,872,567	△33,683	△0.7
企 業 会 計					
水道事業	水道事業収益	515,705	488,221	27,484	5.6
	水道事業費用	553,031	593,621	△40,590	△6.8
	資本的収入	20,180	139,034	△118,854	△85.5
	資本的支出	47,923	140,825	△92,902	△66.0
下水道事業	下水道事業収益	339,311	326,300	13,011	4.0
	下水道事業費用	395,890	386,195	9,695	2.5
	資本的収入	252,408	452,233	△199,825	△44.2
	資本的支出	252,408	452,233	△199,825	△44.2

水道事業会計

有収率の落ち込みの質問には平成29年度が88.5%、30年度が83.5%。要因は漏水の増加と答弁。その改善策には、漏水箇所の多い地域を選定して調査をして漏水を止めているとの答弁。開苑に伴う維持管理費56万4千円の詳細の質問には、三里地区の開発に伴う本管布設で工事費の20%を維持管理費として徴収しているとの答弁。

このほか、県営水道100%で使わなくなった施設や藤代池の取水権などでも質疑がありました。

下水道事業会計

普及率の質問には、現在54.6%、緑ヶ丘の残り3地区が終われば62%程度になる。県全体の平均普及率は昨年度末で80.7%と答弁。今後の計画の質問には、緑ヶ丘の3つの集中浄化槽を令和5年度までに接続する計画と答弁。集中浄化槽の跡地の質問には、この地区も機械等の撤去はしていただき、あとの利活用は町が検討することになっているとの答弁がありました。

学校給食費 特別会計

二斉休校の取り扱いの質問には、3月分の給食費は2月28日に口座引き落としだったので、卒業生は卒業式に返金、在校生は4月の給食費に充当すると答弁。給食費に多子減免導入をこの質問には、有意義な施策と認識しているが、現在の財政状況では目途が立たない、今後の財政状況をみながら検討するとの答弁がありました。

このほか、残飯状況や輸入小麦の発がん性問題、アレルギー対応などでも質疑がありました。

反対討論

給食費の値上げは平成29年度に続いてのもの。食育の観点や子育て応援の町に逆行するものであり、反対する。

賛成討論

値上げは、消費税や物価上昇など総合してやむを得ないので賛成する。

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

介護保険 特別会計

認知症のサポーター養成の質問には、養成講座を自治会等で5回109名、キッズ向け3回79人、188名がサポーターになつてもらったと答弁。保険給付費の積算根拠の質問には、今年度9カ月分の実績をふまえて5.4%の伸びで計上との答弁がありました。

今年度の剰余金の質問には、今年度単年度の黒字見込み7千万円、精算で4千万円の返還金があるので、差引3200万円を基金に積み立て、基金は4億3千万円になる見込み。1年間の保険料総額にも匹敵する基金になるのは過大な事業計画によるもの。精度の高い計画を立てるべきとの質問には、第8期の計画策定では、策定委員会でも十分議論いただき、精度の高い計画を行いたい。基金は保険料の引き下げに使つとの答弁。平群町の介護保険料の水準の質問には、県下39市町村中8番目に安価との答弁がありました。

このほか、緊急通報サービスや配食サービス事業、認知症スクリーニングソフト、初期集中支援チーム、地域ケア会議などでも質疑がありました。

反対討論

給付費総額が第7期計画と現時点の実績で9億5800万円もの乖離があり、現時点の試算では1号被保険者から保険料を2億2千万円取りすぎたことになる。自らの見通しの間違いを認めず、今年度も取りすぎた保険料を計上している本予算案には反対する。

計画と実績が乖離する状況になつており、剰余金も相当ある。政治の責任として立場の弱い人や困つてる人に十分配慮する必要がある。小さな声にも耳を傾けることは議員としての責務。よつて本議案に反対する。

賛成討論

介護保険事業は基本的に3年を1期の計画として運営。積み立てた基金は次の保険料の上昇の抑制や引き下げに寄与されるもの。新年度は第7期の最終年度の予算となり、給付費全体で前年度より9200万8千円増額し、さらに個々の介護予防に力を入れる予算となつている。今後、介護保険運営協議会において第8期の計画策定に向け、適正に協議がなされることを要望して、本予算案に賛成する。

奨学資金貸付 事業特別会計

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

実績がここ数年ない原因の質問に、高等教育の無償化の事業が始まり、公立高校は実質無償化、私立も近々始まる。大学のほうも、給付型の奨学金制度も拡充しつつある中、そちらの方のウエイトが多いので、町のご利用に至らないということも一因との答弁がありました。

用地先行取得 事業特別会計

起債の条件について質問があり、10年償還の元金均等年2回払い、利率0.21%、元金据え置きなし、交付税算入なし、令和10年までの起債が続くとの答弁がありました。

予算審査特別委員会
委員長 山口 昌亮

議会懇談会を開催しました

令和2年2月10日、商工会館において、平群町農業委員会との懇談会を開催しました。

平群町農業委員及び農地利用最適化推進

委員のみなさんご参加により、平群町の農業振興についてというテーマで話し合いを

しました。

内容は平群町の農業の概要から始まり、平

群町の農業に関するさまざまな課題について

たくさん意見や要望をいただき、有意義な

懇談会となりました。

懇談会でいただいた主要望・意見は次の通りです。

◇要望・意見

＊平群の産地を守っていくには、雇用と新規就農が課題であるので、町としても農業の魅力をアピールしていただきたい。

＊町議会として、農業の先進地視察も検討していただき農家の後押しをお願いしたい。

＊新規就農者や後継者の担い手だけではなく、既存の農業者についても、衰退や離農等を防ぐ観点から、更なる規模拡大や設備投資をする際の助成制度を町の方で考えていただきたい。

＊遊休農地は、耕作者の高齢化等により耕作ができないため増加している現状である。担い手、後継者、新規就農者育成の手助けをお願いしたい。

＊平群町の農業者は、家族経営が多い傾向にある。ある一定

の規模拡大を考えたときに人材雇用が安定しないという問題がある。各種生産物の特性上、通

年の雇用が難しく、欲しい時期に人材が確保できなければ経営が、安定しないという問題もあり農業者の衰退の一因となっている。平群町として人材確保のサポート等を考えていただきたい



町議会をネットで傍聴できます



平群町議会は、本会議の様態をインターネットで録画配信しています。スマートフォンでも視聴可能です。町のホームページからアクセスできます。



い。例えば、生産物の出荷時期が異なる物が連携をして、一年を通じての雇用確保。

＊西山間地域の太陽光発電等の事業において、ダンブカーの往来が頻繁になると思われる。事故等も懸念されるので、安全

対策について検討していただきたい。
以上の要望・意見は議長より文書にて町長へお伝えしました。
◆ ◆ ◆
平群町議会では、議会基本条例に基づき、議会懇談会を随時実施しております。
町民及び各種町民団体等のみなさまとの意見交換の場を設けておりますので、ご希望の団体等ございましたら、議会事務局までお問合せください。

町政を問う！ 一般質問一覧

岩崎議員	1. 今後の町財政と住民負担の考え方について
窪 議員	1. 新型コロナウイルス感染症対策への対応について 2. 小中学校のICT環境の整備について（GIGAスクール構想・一人に一台のパソコン配備） 3. 幼保無償化に対する評価と課題対策について
山口議員	1. 高すぎる国保税の引き下げと子どもの均等割廃止を 2. 「多子世帯支援事業」の実施を 3. 自動車誤発進防止装置の設置に助成を
井戸議員	1. 平群町独自のナンバープレートは、付加価値を付けたデザインを 2. 平群町の小中学校ICT大規模導入の詳細について 3. 難敵コロナウイルスから住民の命を守ろう！
植田議員	1. 地域猫（飼い主不明）の避妊・去勢手術の補助金制度の充実について 2. ごみの減量化と5市町によるごみ処理広域化の現状について
稲月議員	1. 櫛原山間部におけるメガソーラー建設について 2. 町内ウォーク、ハイクを快適に 3. 平群町として「気候非常事態宣言」を
森田議員	1. 死亡手続きの一元化を 2. 「プリズムへぐり」をもっと利用すべきでは 3. もっと安全な町道に
馬本議員	1. 安心、安全な町道管理を 2. 中学生の部活動について 3. プロ人材職員の公募を 4. 新県域水道ビジョンについて 5. 子育て支援の推進について
下中議員	1. さらなる官学連携を 2. 南都銀行との連携協力について
長良議員	1. 学校教育の充実について 2. 特産物とPR事業について 3. 民生委員の活動及び地域の見守りの取り組みについて 4. 空き家対策について 5. 平群町にあった“働き方”への支援策について 6. 令和2年度の予算編成について

議員提出議案

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書(案)

提出者 窪 和子
賛成者 岩崎 真滋 （原案可決）

再生可能エネルギー発電設備等に関する法整備を求める意見書(案)

提出者 稲月 敏子
賛成者 植田 いずみ、山口 昌亮 （否決）

議会の動き

議会運営委員会

- * 議会業務継続計画(BCP)(案)について 1月16日(木)
- * 令和2年平群町議会第1回定例会の議会運営について 2月21日(金)

文教厚生委員会

- * 次年度以降のし尿処理委託先について 2月21日(金)

全員協議会

- * 平群駅周辺整備事業の保留地の状況と今後の予定について 3月11日(水)

人権擁護委員候補者の推薦

東 伸宏 氏

住所 平群町西宮

東伸宏氏は適任であるとの意見で答申することと全会一致で決定しました。



今後の町財政と住民負担の考え方について



岩崎 真滋

質問

平成29年10月に「第2次財政健全化計画」を策定し、財政健全化に向けて具体的な取組事項が決められ、その実現に向けて鋭意取組を進めていることは承知をしています。が、財源確保には限界もあると思われます。行政内部の自助努力と住民負担に対する町の基本的な考えは?

答弁

財政健全化計画に示されている大きな項目である「事務事業の見直し」「人件費の抑制」「歳入の確保策」を丁寧に進めることになる。仮に平群町が、赤字団体になり、住民の皆さまに様々

な形で負担をお願いする場合、総人件費の抑制は、避けて通れない項目である。

住民負担の基本的な考え方としては、具体的には申し上げられないが、近隣市町との比較などを検討材料にしながら、協議を進め「適正な受益者負担の原則」に立ち返り、住民サービスのために必要な経費に見合った負担を、受益者の方にお願ひすることも検討する必要がある。

財政調整基金も1億3千万円程度しかなく、大きな財政出動があれば、その時点での年度決算において「赤字団体」となることが想定できる。



新型コロナウイルス感染症 対策について



窪 和子

質問

新型コロナウイルスの

感染拡大防止により町主催イベントの中止や小中学校でも3月2日の午後から24日までの期間を臨時休業。時々刻々と変化する感染症を一日も早く収束させ町民の命と健康を守るため、さらに感染防止拡大の取り組みが必要で

答弁

そこで、①お一人暮らしの高齢者への予防策の徹底を②こどもたちの臨時休業中の対応③テレワークの導入④防災備蓄

①一人暮らしの高齢者(895名)には情報が入りにくく感染すると重篤化しやすいため民生委員と地域支え合い推進員が「安心見守り事業」で自宅訪問をしていただいている。

②小学校では教師が児童の自宅に電話し生活状況を確認し学童保育の児

童も把握。中学校でも教師が家庭訪問を実施。

③テレワークは、情報セキュリティの確保など検討課題があり整備は厳しい。

④防災備蓄しているマスク(16850枚)から学童保育、各こども園、子育て支援センターに配布。他平群北幼稚園、卒業・卒園式や町内の緊急性を要する医療機関等にも配布。今後、必要性を見極め順次対応してまいります。



「多子世帯支援事業」の実施を



新たな施策は、近隣自治体と横並びの施策では「まちおこし」としての効果が小さいと思う。そこで、話題性やインパクトがあり、マスコミなどからも注目される施策として、保育料や給食費、国保税など、第3子以降にかかわるすべての負担を減免するといった支援策を実施してはどうか。

質問



山口 昌亮

答弁

昨年10月からの幼児教育・保育無償化で平群町では、保育料の国基準との差額が新たな財源となります。この財源を活用した新たな子育て支援が必要と考える。

幼児教育無償化で生まれる財源については、現在のところ金額は未確定。人口減少、少子高齢化の本町において、子育て支援は取り組むべき重要な施策と認識している。

第3子以降の無償に必要な町負担は、こども園の給食費で5万円。学校給食費で213万円、国保税で144万円など総額362万円になる。

現在の財政状況を考えて新たな施策は大変厳しいが、財政状況を見極めながら検討する。

難敵コロナウイルスから 住民の命を守ろう!

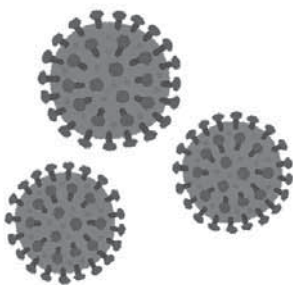


井戸 太郎

質問

世界中で新型コロナウイルスが蔓延。日本では、検査を抑制し、実際の感染者数は不明。気候や医療、同条件の国を参考に想定すると、すでに、国内で1〜2万人は感染しているはず。しかし、平群町内では検査できず、町内感染者は永遠に0人。

政府は、小中学校等の休校、各種手続き期間延



長を決断。平群町も積極的にパンデミックに備えるべき。そこで、子ども、高齢者を中心に提案したい。

①子育て支援センター
②こども園登園自
③空気清浄機の増設
④かしのき

答弁

①相談業務及び育児用品の貸出以外実施済み②充分効果は出ている③空気清浄機設置及び休憩等
④実施済み⑤実施済み⑥各種団体の判断で
⑦人員不足で難しいが、一時的に車通勤等へ変更を検討⑧情報管理の点で現在のところ不可能⑨設備が整っていない⑩TPOを考え、実施済

地域猫の避妊・去勢手術 補助金制度の充実を



質問



植田 いずみ

昨年12月議会にも質問しました地域猫（飼い主不明の猫）の繁殖を制限していく中で、住環境の整備また動物愛護の観点からも無用な殺処分を減らしていく点でも、この補助金制度が有効に活用できるように補助金交付申請時の写真添付（手術前）は不要にし、術後の写真は

答弁

添付のみに改善するよう求めてきました。これは補助金の申請から交付決定まで一定の時間を要するため、制度を利用することが殆どできないとの声がNPO法人やボランティアで保護活動されている方々から寄せられています。

12月の答弁では、手術前の写真添付については検討したいとの答弁でした。どのように検討され改善されるのか、また必要に応じた予算確保もどのように考えているのか。

補助金交付申請時の写真添付ではなく、補助金交付請求書の提出時に術前術後の写真添付に変更したいと考えている。

補助金の確保については実績の状況を見ながら出来るだけ必要に応じた予算確保に努めたい。

平群町として 「気候非常事態宣言」を

質問



稲月 敏子

日本国内でも、世界でも、記録的な高温や台風等の強大化、豪雨、大洪水、大規模な山火事、深刻化する干ばつなど気候変動の影響が顕在化、被害者や死者数も増大。地球的規模での気候変動であり、極めて深刻な状況になっている。

この問題に向き合い地球環境の危機を防ぎ、暮らしを守り、未来を担うこども達のために前に進んでいく行動を起こす必要がある。



答弁

平群町でも日も早い宣言をし、行動をしていくことを呼びかける。

2050年までに二酸化炭素排出ゼロ表明をした自治体は76自治体。公共施設の電力使用を再生可能エネルギーで賄う、未利用バイオマスの活用、森林整備による二酸化炭素吸収率の向上、次世代モビリティの構築などクリアする必要がある。「気候非常事態宣言」を実施するかどうかも含めて、どのような取組みができるか調査検討していく。

死亡手続きの一元化を



大切な家族を亡くしたばかりの深い悲しみの遺族にとって、死亡時の手続きは複雑で時間を要し、わずらわしいものである。

平群町では死亡届は住民生活課、健康保険や後期高齢者医療保険は健康保険課、介護保険は福祉課等、遺族が担当課を回って手続きの他、役場以外に法務局、生命保険、金融機関等の手続きが必要と



森田 勝

質問

なり、故人によつてその手続きは異なり、遺族の負担が大きいことから、死亡手続きの一元化、ワンストップ化を行うべきでは。また、役場以外の手続きについても遺族へのアドバース等を行い、住民への行政サービス・利便性の向上を図るべきではないか。

答并

遺族の方が、住民生活課を訪れた際に、関係各課をご案内している。また、役場以外の手続きについては、故人によって手続きが異なり、混乱を招くことから手続きの案内はしていない。

死亡手続き三元化は、住民サービスの向上として大事と認識しているが、職員配置、スペースの確保等がかなり困難であることから、とりあえず、庁内手続きがわかる案内書の制作に取り組みたい。

プロ人材職員の公募を



馬本 隆夫

質問

人口減少、少子高齢化、財源問題など、多くの課題を抱えている本町にとつての問題解決と、新たな行財政改革は待ったなしの状況であります。



營が危惧されます。

そこで、行財政改革の二つとして、ますます多様化する行政需要を的確に対

答并

今後の採用については、本町の職員の年齢構成、採用方針も踏まえて、民間企業や他自治体での経験を持ち、そのスキルを活かしながら即戦力になる「プロの人材」等の公募も含めて調査研究をしています。

南都銀行との連携協力について



平群町と南都銀行との包括連携協定は、本町と南都銀行が、各分野において、各々の持ち得る資源を有効に活用し、綿密な相互連携のもと、地域活力の増進、地域経済の発展および町民サービスの向上を図ることを目的とされています。

今、私達が直面している大きな課題である人口

質問



下中 一郎

減少と地域経済の縮小をいかに克服するかであります。銀行の知的・人的資源を有効に活用して、この取り組みをより強力に押し進めることが大切であり、連携協定の効果も期待されます。

本年は協定最終年となるが、地域の活性化を進めるにあたり、地元銀行との連携協力は今後も必要であると考え、引き続き連携協力をすべきと考えている。

答弁

今後、町として期待するところは「経済状況や企業動向の情報、新規事業者の起業情報などの情報収集」や「様々な業態の企業との関係づくりによる町施策との連携」などが考えられますので、次年度以降もこの協定を継続することで、包括協定のメリットを町行政に活かすことが出来るよう、取り組んでまいりたい。

民生委員の活動及び地域の見守りの取り組み



長良 俊一

質問

民生委員は、『社会奉仕の精神をもつて、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めるものとする』とされ、どのような活動をされていますか。また、高齢者や障害のある方、子育て中の方など様々な環境の中で地域における人間関係の希薄化や少子高齢化が進み、支援を必要とする方が増えています。そこで一人暮らしの高齢者などの見守る取り組みをされていると思いますが、どのような取り組みを行っているのかお聞かせください。



答弁

民生委員は、現在37名で、地域の実態を把握するとともに悩みや心配事の相談、社会福祉制度や福祉サービスについての情報をお知らせし、必要な援助が得られるよう行政とのパイプ役に努めておられます。月例会では、研修会や勉強会などを行い、資質向上に努めております。

『地域の見守りの取り組みについて』ですが、民生委員と地域支えあい推進員が連携し、定期的な自宅訪問や電話連絡などで日常生活の相談などを行い、自立した生活を過ごせるように支援する活動をされております。

町の話題



「大正琴 あじさい」のみなさん

会員相互のコミュニティケーシング活性化の試み

今年1月12日(日)、13日(祝)の2日間、竜田川団地自治会主催の文化祭が同団地自治会館で開催され、約150人が来場しました。

文化祭では、自治会員23人から寄せられた絵画や写真、書、粘土細工、俳画掛け軸、盆栽、木目込み人形、手芸などの作品が2日間展示

され、初日の午前には子ども工作教室、2日目の午後には、大正琴(写真)やクラリネットの演奏、エレクトーンの弾き語り、マジックが披露されました。演者(5組15人)は自治会員とそのサークル仲間の方です。

◇ ◆ ◇

文化祭開催のきっかけは、昨年、自治会副会長に就任した山上憲一さんが「地域のつながりが希薄になっているのでは」と感じ、なにか「コミュニティ」の場になるような催しをと昨年10月、自治会役員会に提案したことから。

11月初旬に回覧で、文化祭開催のお知らせをし、出演・出演者を募集。この回覧の「意見・要望」欄に「内容が高齢者向けすぎる」との意見が寄せられ、子ども工作教室(割りばし鉄砲・紙飛行機・折り紙)も行うことになりました。

役員さんらが趣旨説明や出演・出演依頼で各家を訪問したことが実り、文化祭は成功しました。

自治会長の福井康裕さんと山上さんは「参加者からは概ね好評で、所期の目的はかなりの達成できたと思う」と話しています。山口 記

竜田川団地文化祭

2020 竜田川団地 文化祭	
《開催日時》 1月12日(日) 午前10時～午後4時 作品展示 (絵画・書・写真・和紙ちぎり紙・ペーパークラフト・粘土細工・ドールペイント・刺繍・手芸品など多岐多様)	
午前10時半～11時半 子供工作教室 (割りばし鉄砲・紙飛行機・折り紙) ※参加費も用意しています	
13日(祝) 午前10時～午後3時 作品展示 午後1時～2時半 音楽演奏とマジック (大正琴・キーボード・クラリネット)	
《会場》 竜田川団地自治会館	《主催》 竜田川団地自治会 二階に温かい飲み物とお菓子を用意して ご来場をお待ちしています
《準備》 1月11日 午前10時～ 展示ボードの搬入 午前11時～ 会場準備と飾りつけ 午後1時～3時 作品運び込みと展覧作業 午後4時以降 音楽リハーサル(希望者のみ)	
《後片付け》 13日 午後3時～ 作品の撤去と会場片付け・展示ボードの返却 ※作品出展者は5時までに自治会館に引き取りに来てください ※準備や片付けの人手が足りません。お手伝いをして下さる方を募集しています。 (山上までご連絡下さい。Tel 45-2892)	
自治会員の皆様へ 明けましておめでとうございます。令和2年の初月は穏やかな天気に恵まれましたが、皆様いかがお過ごしでしたか。さて、文化祭の準備も次第に整い、いよいよ本番が近づいてまいりました。新年早々の、寒くまたご多用の折かと思いますが、当日はぜひ自治会館まで足を運んでくださいますよう、重ねてご案内申し上げます。	
2020年1月5日	竜田川団地自治会長 福井康裕 文化祭担当 山上憲一

編集後記

新型コロナウイルス感染の拡大により、各校園の卒業式縮小や各団体の総会中止、延期等、異例の対応で頭が痛い新緑の季節となりました。今回の議会だよりは、主に令和2年度平群町の各予算について記載しております。一般会計予算額は66億9千万円で、前年より14億8千万円減の緊縮型予算で可決しました。

私の幼少期は、毎月定額のお小遣い制でした。月初めにお財布のひもを緩めてしまうと、月末は勉強机で肅々と反省です。上限なしで貰っていた裕福な友人もいましたが、「人は人」と親に言い聞かされました。

定額小遣い制の私は、日々「身の丈を超えた贅沢な菓子」との闘いでした。最少経費で最大効果をもたらすような魔法がある訳もなく、子どもながらの節約術を身につけ、自己努力で楽しく過ごせました。

(日本 記)